



神まち建第39号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

神崎町長 石橋 輝



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点・要望や提案など

千葉県神崎町

地方の財政は逼迫し、真に必要な道路についても改良できない状況である。

特に地方の生活道路を充実するとともに災害対策等の緊急輸送道路へのアクセス道路の整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

② － 1 地域の現状と抱える課題

千葉県神崎町

○現状

①植房地区の町道は、狭く、カーブも多く見通しも悪いことから交通事故が多発している。また、緊急車両等の通行にも支障をきたしている。

②県道郡停車場大須賀線の神崎南口入口付近は、南部地区・四季の丘団地の小・中学校の通学路に指定されていますが、現在歩道がなく、路肩も狭いため児童・生徒の通学が危険な状況である。

③郡県道踏切は、通勤・通学や生活道路として利用されているが、歩道がなく大型車両も多いため、自転車や歩行者が危険な状況である。

○課題

①本路線の改良については、昭和52年に発足した「県道成田神崎線整備期成同盟」において、植房地区から旧下総町名木地先までの道路を計画しているが、本町での事業化について財政的に早期着手は困難である。

本路線の改良については、植房地区からの請願道路であります。

②歩道の設置については、PTA及び地元郡地区等から要望されておりますが、本町での事業化については財政的に困難であります。また香取地域整備センターへも要望しておりますが早期着手は困難である。

③県道であるため、香取地域整備センターへ踏切を拡幅及び歩道の設置を要望しておりますが、早期着手は困難である。

踏切改良については、小中学校及びPTAからも要望されています。

今後の道路行政についての意見・提案

② ー 2 地域の目指すべき将来像

千葉県神崎町

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

千葉県神崎町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
①地域活性化と雇用促進	①（仮）神崎 I C 周辺地域整備事業 （神崎 P A ・道の駅等）	①圏央道の利用促進 ②利用者に対するサービス向上 ③顧客層の拡大 ④産業振興や雇用促進 ⑤災害対策拠点	
②交通安全	②武田古原線道路改良事業 ③並木郡根岸線道路改良事業	①通学路の整備 ②生活基盤道路及び物流路線の確保 ③成田方面への通勤道路確保 ①通学路の整備 ②田中踏切拡幅に伴う交通安全対策 ③交差点改良に伴う交通安全対策	